答案はきれいな文字で書こう

―「楷書体」、「筆記体」、「ブロック体」の練習を―

開倫塾
塾長　林　明夫

1．おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

2．中学 3 年生の受験生の皆さんはあと 1 か月半ぐらいで県立高校の入学試験がありますので、今日の「開倫塾の時間」では試験に役立つ実務的なお話をさせていただきます。答案の文字はできるだけ丁寧(ていねい)に書くということも含め、合格答案の書き方はどのようにしたらよいのかというお話をします。

　私もたくさんの答案をいろいろな所で読ませていただきますが、受験生の書いた文字を試験官が読めないとなかなかよい答案とは言えません。ですから、私がお願いしたいことは、ひらがなやカタカナ・漢字だけではなく、数字やアルファベットなどすべての文字を丁寧(ていねい)に丁寧にわかりやすく書くことを心がけていただきたいということです。漫画字(まんがじ)や癖(くせ)のある文字はできるだけ避ける。試験の答案ですので、試験官が読めるようなひらがなやカタカナ・漢字・数字・アルファベットを書いていただきたい。そして、できるだけ丁寧にわかりやすく書いていただきたいと思います。

3．具体的には、教科書の書体である楷書(かいしょ)で書くことが望ましいです。文字は崩(くず)さないほうがよいですね。英語であれば、もし筆記体(ひっきたい)で書く方は試験官が読んでわかるような筆記体を書くことを心がけていただきたいと思います。中学 1 年生や英語を習い始めた方が使うペンマンシップという英語の習字のノートがあります。それを買ってきて、きれいに書けているかどうかを自分でもう一度チェックをするとよいですね。英語の筆記体は美しく書くことが基本ですので、美しく書けない場合はブロック体という書体で書くことをお勧めします。その場合も、相手に読めるようなブロック体を書いていただきたいと思います。

4．文字を書くことに自信がない方に私がお勧めしたいのは、ひらがなやカタカナ・漢字・数字・アルファベットを一緒に習える易(やさ)しい「ペン習字」の本が本屋さんにありますので、その中で一番薄くて簡単な本を 1 冊買ってきて、丁寧に丁寧に練習する方法です。練習する場合には、必ずお手本を上からなぞって書き、そのあとで自分で横に書いてみる。そのような形で繰り返し繰り返し練習すると、答案の文字が本当に丁寧に書けるようになります。できれば試験の前日まで 1 日 10 分間ぐらいこのような練習をすると、丁寧で読みやすい文字になります。私も人のことは言えませんが、文字をきれいに書くことは、文字を読んでくださる相手のためにもなりますので、ぜひ試験勉強を通じて答案の文字を丁寧に書くこと、また、それを通じて自分の文字も丁寧に書く練習をし

ていただければと思います。これが一番やっていただきたいことです。これでしたら、頭を使うわけでもないですし、多くのお金を使うわけでもなく、非常によい答案が書けるようになります。誰でもできることですので、ぜひやっていただきたいと思います。

5．加えて、高校入試で面接試験を受ける方もいらっしゃると思いますので、そのことについてお話をさせていただきます。面接を受けるときのポイントは、自分はやる気と目的を持って高校生活を送りますということを面接官に明確に述べることです。何のためにこの学校に入学するのか、入学してから何に取り組みたいのか、高校卒業後はどのような進路に進みたいのか、社会に出て何をしたいのかということを面接官は知りたがっています。ですから、高校卒業後に大学や短大・専門学校に行くという進学をするのか､就職をするのかについても自分で考えていただきたいと思います。面接では、なぜ進学したいのか・なぜ就職したいのかを明確に述べる必要があります。ですから、今まではあまり考えたことのない人が多いと思いますが、これをきっかけに自分の人生について深く真剣に考えて、今の自分の考えを文章にまとめることをお勧めします。それを面接官の前でできるだけはっきりと述べることができれば、面接試験には必ず受かります。ぜひ挑戦してください。これも素晴らしい試験勉強です。

6．ところで、中学校時代の友達・同級生は一生の友達です。中学校時代のクラス担任の先生や校長先生、いろいろな科目で教わっている先生もすべて一生の先生です。難しい言葉でいうと恩師の先生です。この恩師の先生方は、自分が人生で困ったときや楽しいとき、悲しいときに一緒に悩んでくれたり、悲しんでくれたり、喜んでくれたりします。もちろん同級生も一生の同級生で友達ですので、辛いときには一緒に考えてくれたり、楽しいときには一緒に喜んでくれたり、悲しいときには一緒に悲しんでくれたりします。皆さんにとって人生で一番大事な方々です。卒業まであと 2 か月余りですが､卒業までの期間に少しずつでもよいですから友情を育んでいただきたいと思います。

　また、今通っている中学校は皆さんにとって自分の学んだ学校、母校です。母校というのはその人自身・自分自身のようなものですから、本当に大切に思ったほうがよいと思います。その母校の素晴らしさを自分自身で認識するために、卒業までの 2 か月余りでもう一度思い出を確かめながら母校の素晴らしさを知り味わうことも、卒業までの過ごし方の 1 つだと思います。

7．今日は、入学試験まで 1 か月半ですので、入学試験までの過ごし方の 1 つとして答案の文字を丁寧に書くことや、文字に自信のない方はペンマンシップややさしいペン習字の本を買い求めて練習していただくことをお話しました。また、卒業までは 2 か月余りになりましたので、同級生や恩師の先生方と卒業までに一言でもよいですから言葉を交わしたりして友情を育むことや、母校である今通っている中学校を自分自身でツアーをして、その素晴らしさを再発見することをお勧めするお話もさせていただきました。

8．皆さんも母校である中学校をどのように大事にするか、また、同級生とどのように接するかについてお考えいただいて、充実した日々を過ごしていただきたいと思います。

　文字を丁寧に丁寧に書くことは大事な試験勉強ですので、ぜひ実行していただきたくよろしくお願いいたします。

―追記・訂正 2013 年 6 月 12 日林明夫―